

工業技術を倫理的に考える

～工業製品、技術者、消費者～

期間 28年2月23日〔火〕～3月22日〔火〕(全5回)

応募締切 28年2月9日〔火〕

実施場所 九州国際大学地域連携センター (サテライト・キャンパス)

〒806-0021 八幡西区黒崎3-15-3 コムシティ2階 (39ページ地図参照)

申込問合せ先 九州国際大学地域連携センター

〒806-0021 八幡西区黒崎3-15-3 コムシティ2階 TEL: 631-2203 FAX: 631-2204

時間 18:30～20:30

定員 30名

受講料 4,000円

講座概要

実施機関: 九州国際大学地域連携センター

わたしたち現代人は、工業製品に囲まれた空間の中で生活しています。このことは、工業製品が無ければ、わたしたちは生活することができないということであるともいえます。では、わたしたちを取り囲んでいる工業製品を、わたしたちは、無条件に、あるいは無批判に、受け容れてもよいものなのでしょうか。また、わたしたち消費者だけでなく、工業技術者は、それら工業製品に対してどのような態度を採る必要があるのでしょうか。

この講座では、工業技術について、倫理的に考えていきます。工業製品だけでなく、工業技術そのものも対象となります。また、技術者だけでなく、わたしたち消費者がそれらにどのように関わっていくべきかについて、考えていきます。

月 日	テーマ・内容	担当講師
平成28年 2月23日 (火)	「人工物を介した独特の倫理であることについて」 倫理学が通常扱う問題とは異なり、対象となる人々が直接対峙していない等の工業技術の倫理の特徴について、考えていきます。	
3月1日 (火)	「安全性とリスクの問題」 工業製品は、その製造過程から、何らかの危険が伴います。今回は、安全性に関わる問題について、考えていきます。	
3月8日 (火)	「工業技術への態度——技術者として、消費者として」 工業製品に関わる人々が、工業技術に対して、どのような態度で、どのように接するべきなのかについて、考えていきます。	九州国際大学 教授 松井 貴英
3月15日 (火)	「バリアフリーとユニバーサルデザイン」 工業製品が誰かにとって「優しい」ものであるならば、それはどのようなものであることが望ましいのでしょうか。共に考えていきます。	
3月22日 (火)	「工業技術を介したコミュニケーション:技術者と消費者と社会」 技術者あるいは工業技術は、消費者や社会に対して、どのような立場にあるのかを共に考えながら、この講座のまとめとします。	